

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

北摂安心Dハウス

グループの名称

北摂Dウッドの会

直近採択グループ番号

06-0240-0526

(グループ代表者)

代表者名

土井 文男

代表者印

代表者所属先

土井住宅産業株式会社

代表者所在地

大阪府高槻市真上町1-13-3

代表者電話番号

072-685-0181

(グループ事務局)

事務局事業者名

土井住宅産業株式会社

事務局担当者名

小島 啓史

印

事務局郵便番号

566-1121

事務局所在地

大阪府高槻市真上町1-13-3

事務局電話番号

072-685-0181

事務局FAX

072-681-1367

事務局担当者E-mail

hokusetsu-dh@woody-doi.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸	
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	㎡			
					0	㎡			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)									
各住宅事業者へ最低1戸の割り当てを基本とし、受注が確実視されている住宅事業者へ優先して配分する。									
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	14	戸	交付申請戸数	8	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	8	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北摂安心Dハウス	(地域型住宅供給対象地域) 関西
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 北摂Dウッドの会	(結成年) 2017年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0240-0526	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	住まいをはじめ生活空間を構成する素材、木材。人工物にはない温かみがあり、耐久性に優れ、年月を経るごとに味わいを増し、唯一無二の表情を見せてくれます。 「北摂Dウッドの会」が提供する「北摂安心Dハウス」では合法木材を使用し、北摂地域に根付いた安心の住宅を提供いたします。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	本グループは、住まいをはじめ生活空間を構成する素材、木材にこだわった住宅を提供いたします。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	関西地域は文化、歴史的にも重要な寺社仏閣等が多数あり、そういった環境を重視し、周りの文化・景観と調和のとれたデザインとする。	◎
④①～③の背景	大阪の気候は、一般的に温和で四季の区別がはっきりしており、都心部ではヒートアイランドが顕著で夜間の気温が下がりにくく、最低気温が25℃を下回らない熱帯夜の多さは本州随一で、夏は35℃を超える猛暑日になることも少なくない。 また、歴史・文化は、7世紀には大阪に難波宮が築かれ、わが国の政治・経済の中心地として栄えた。その後、政治の中心は奈良、京都などを経て東京へと移るが、文化・通商の玄関口としての役割は変わらず、17～19世紀には「天下の台所」として常に日本の経済発展を先導し、独自の文化・学術を発展させてきた。本グループが提案する住宅はそういった気候、文化を総合的に考え、地域の風土、性能を重視しています。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		グループ内共通の設計・施工に関する標準規格を協議・検討していく。
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	グループ内共通の設計・施工に関する標準建材の仕様を統一を目指す。
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	グループ内共通の設計・施工に関する標準仕様を協議・検討していく。
②-1 建材・資材調達の共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	事務局が中心となり施工事業者、建材流通事業者等と定期会合を今後、開催する。
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	事務局が中心となり構成員同士で意見相談会を実施し、よりスムーズな物流の流れを目指す。
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	本グループの事務局が、各構成員間の連絡業務を行う。
b		本グループの構成員が作成した、地域型住宅グリーン化事業、長期優良住宅、低炭素住宅等のパンフレットを活用し、性能をより分かりやすく、目に見える形で提案を行う。
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	本グループが提案する物件については、事務局内の有資格者(建築士)にて確認する。
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	早期に共通見積書・積算書の作成の完成を目指します。
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	本グループの取り組み等のチラシの作成や構成員のホームページにて公表し認知度を高め、信頼性の向上に努めます。
c		事務局が中心となり、グループ全体として週休2日制を導入する
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	事務局が中心となり、グループ全体として技能や経験にふさわしい処遇(給与)を実現する。
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	事務局が中心となり、社会保険加入の徹底に向けた環境を整備する。
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	事務局が中心となり、「社員の健康第一」と考え、職場環境を整備する。
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北摂安心Dハウス	(地域型住宅供給対象地域) 関西	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北摂Dウッドの会	(結成年) 2017年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0240-0526		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積履歴情報のメンテナンス基準		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 国土交通省「登録住宅履歴情報蓄積システム」登録機関による履歴情報管理を導入する。	○
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JKサポートセンター『快適住実の家』から適宜情報発信を行う。	○
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴管理情報については、事務局にて確認を行う。	○
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 30年保全計画の点検時期シートを活用する。	○
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 30年保全計画の点検時期シートを活用することにより、適切な補修計画を立てる。	○
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が実施の確認を行う。	○
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が主体となり、施工事業者及びお施主様向けの勉強会を実施する。本年度は5/23に勉強会を実施いたしました。	◎
	③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が主体となり、施工事業者からの相談を適時、実施する。	○	
④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
b			
① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 廃業・倒産事業者による維持管理が困難な物件については、事務局が相談窓口となる。	○	
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	各適合申請(長期優良住宅、低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、BELS)、資金計画提案、住宅ローン(フラット35等)取次、火災・地震・瑕疵担保保険取次等はJKサポートセンターによるサービスを活用する。		○
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験業者や若手大工に向けた現場勉強会を開催し、構成員同士での技術指導を実施する。	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会での建設過程の公開や、実行予算書作成によるコストの透明化を目指す。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり実施・確認を行う。	○
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり需給計画を立てる。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員である地域工務店及び建材流通業者は各地域に密着した企業活動を行い、メンバー同士のネットワークを作り、協力体制を構築する。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員同士、意見交換会を実施する。	○
	b		
①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 20	○	
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 5	○	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局から、省エネ施工技術者講習会に随時参加するよう情報配信を行う。	◎	
c			
① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: HEMS基幹部品を標準設置とし、再生可能エネルギーの創出(太陽光発電パネルの設置等)を推進する。	○	
② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカー(設備機器)からの新商品を、事務局が中心となり施工事業者へ情報配信を行う。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	緊急時の資材調達もネットワークを活かし、スムーズな供給体制の構築を目指す。		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北摂安心Dハウス	(地域型住宅供給対象地域) 関西
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北摂Dウッドの会	(結成年) 2017年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0240-0526	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
<p>主要構造材</p> <p>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</p> <p>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</p> <p>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</p> <p>羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>・合法木材認証制度の一部においては、産地が外国である事業者の為、必要とされる念書の入手が不可能であり、原木供給業者の登録を行っていない。この為、製材・集成材・合板製造と建材流通グループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。該当事業者の原木出荷が適合していることを以下にて示す。</p> <p>・以下に該当する認定制度に基づく証明書の添付。 PEFC森林認定制度: 森林経営の持続性や環境保全への配慮などについて民間の第三者機関により認証された森林から算出される木材・木材製品。</p> <p>・原木の産出国がわかる書類のひな形の添付。</p>		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	◎
c	①-1 畳の活用	
	①-2 和瓦の活用	
	①-3 襖の活用	
	①-4 障子の活用	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	○
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北摂安心Dハウス	(地域型住宅供給対象地域) 関西
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北摂Dウッドの会	(結成年) 2017年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0240-0526	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
<p>キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴</p> <p>※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。</p> <p>高度省エネ型(認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅)</p> <p>基準・性能等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー基準より高い仕様の断熱を使用する。 ・太陽光発電システムの設置を目指す。 ・照明のLED化を目指す。 ・省エネルギー基準仕様の断熱を使用する。 ・節水対策として節水型設備機器を採用する。 ・外皮計算を必須とする。 ・HEMS導入を推奨(任意)し、エネルギー管理を行う。 ・省エネ法の省エネ基準に比べ、一次エネルギー消費量がマイナス10%以上とする。 <p>お施主様には、より性能を見やすいようなチラシを作成する。(下図参照)</p> <p>高度省エネ型(ゼロエネルギー住宅)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本グループは、今後ゼロエネルギー住宅の仕様(モデル)の作成を目指します。 ・高度省エネ型未経験工務店には勉強会を開催し、構成員による技術指導も実施する。 ・基準は様式5-1参照(BELS活用) 		
<p>認定低炭素住宅とは、都市の低炭素化を目的に措置が講じられた省エネルギー性の高い住宅です。省エネ性能の高い住宅を造ることで、消費者の住居費の軽減や環境負荷の軽減に繋がります。</p> <p>認定基準</p> <p>認定には、定量的評価項目と選択的項目の2項目を満たす必要があります。</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e6f2ff;"> <p style="text-align: center; background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px;">定量的評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次エネルギー消費量が改正省エネ基準より10%以上削減すること ・改正省エネ基準と同等以上の熱性能基準を満たすこと <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> 空調 給湯 照明 その他家電 </div> <div style="font-size: 2em; color: orange;">→</div> <div style="font-size: 2em; color: orange;">10%以上削減</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> 空調 給湯 照明 その他家電 </div> </div> </div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #ffe4c4; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #ff8c00; color: white; padding: 5px;">選択的項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下の項目から2つ以上を選択すること ① 節水機器 ② 雨水、井水又は雑排水利用 ③ HEMS ④ 太陽光発電及び蓄電池 ⑤ ヒートアイランド対策 ⑥ 劣化対策等級3 ⑦ 木造住宅 ⑧ 高炉セメント </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>認定低炭素住宅のイメージ</p> </div>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。